

同意書（2）

私たち研究班は、外来で抗がん剤治療を受けられる患者様の副作用の予防や緩和を行う看護サービスの開発を行うにあたり、外来で抗がん剤治療を受ける患者様を対象に、抗がん剤治療に伴う看護サービスの提供についての調査研究を行っております。つきましては外来で抗がん剤治療を受けておられる患者様に生活上の困難や必要なサービスについてインタビューをさせて頂きたいと思っております。インタビューの日時はご協力いただく患者様のご都合にあわせて設定させて頂きます。

研究への参加は自由意志によって行ってください。研究協力に同意できない場合は、お断りになることもできます。インタビューの内容で答えにくい、あるいは答えたくない場合は、無理にお答えいただかなくても結構です。また、インタビューの途中で身体的・精神的苦痛が生じた場合、中断することができますので、遠慮なく申し出てください。お断りになったことで、研究協力者が不利益を被ることは一切ありません。インタビューは、声の漏れない部屋などを使用し研究協力者のプライバシーを配慮した場所で行い、インタビュー内容は施設や個人が特定できないよう処理し、研究以外の目的では使用いたしません。研究に参加することによって身体的・精神的苦痛を生じた場合、直ちにインタビューを中止し、研究者が責任を持って適切な処置を行います。その他、何かお気づきの点があれば、いつでも研究者にお尋ねください。

研究にご協力していただいた内容は、今後、外来で抗がん剤治療を受けられる患者様の副作用の予防や緩和に関するよりよい看護サービスを開発することに活かされる可能性があります。研究へのご協力をよろしくお願いいたします。

なお、お話ししていただいた内容は、施設や個人が特定できないように処理を行った上で、専門の学会、学術雑誌に公表することがあります。ご質問がある場合は下記の連絡先にお問い合わせください。

平成 年 月 日

研究協力者署名： _____

説明者署名： _____

研究班責任者：内布敦子

連絡先：〒673-8588

兵庫県明石市北王子町 13-71

兵庫県立看護大学 症状マネジメント研究班

TEL/FAX 078-925-9435

同意書（2）

私たち研究班は、外来で抗がん剤治療を受けられる患者様の副作用の予防や緩和を行う看護サービスの開発を行うにあたり、外来での抗がん剤治療を実施している医師を対象に、抗がん剤治療に伴う看護サービスの提供についての調査研究を行っております。つきましては外来で抗がん剤治療を行う際に医師の立場から患者様に提供した方がよいと思われる看護について、インタビューをさせて頂きたいと思っております。インタビューの日時をご協力いただく医師のスケジュールを考慮し設定させていただきます。

研究への参加は自由意志によって行ってください。研究協力に同意できない場合は、お断りになることもできます。インタビューの内容で答えにくい、あるいは答えたくない場合は、無理にお答えいただくなくても結構です。また、インタビューの途中で身体的・精神的苦痛が生じた場合、中断することができますので、遠慮なく申し出てください。お断りになったことで、研究協力者が不利益を被ることは一切ありません。インタビューは、声の漏れない部屋などを使用し研究協力者のプライバシーを配慮した場所で行い、インタビュー内容は施設や個人が特定できないよう処理し、研究以外の目的では使用いたしません。研究に参加することによって身体的・精神的苦痛を生じた場合、直ちにインタビューを中止し、研究者が責任を持って適切な処置を行います。その他、何かお気づきの点があれば、いつでも研究者にお尋ねください。

研究にご協力していただいた内容は、今後、外来で抗がん剤治療を受けられる患者様の副作用の予防や緩和に関するよりよい看護サービスを開発することに生かされる可能性があります。研究へのご協力をよろしくお願いいたします。

なお、お話ししていただいた内容は、施設や個人が特定できないように処理を行った上で、専門の学会、学術雑誌に公表することがあります。ご質問がある場合は下記の連絡先にお問い合わせください。

平成 年 月 日

研究協力者署名： _____

説明者署名： _____

研究班責任者：内布敦子

連絡先：〒673-8588

兵庫県明石市北王子町 13-71

兵庫県立看護大学 症状マネジメント研究班

TEL/FAX 078-925-9435

平成14年〇月〇日

- ○病院 院長
- ○看護部長様

研究調査のご協力をお願い

私たち兵庫県立看護大学症状マネジメント研究班は、外来で化学療法を受けられる患者様の副作用の予防や緩和を行う看護サービスの開発を行うにあたり、外来で化学療法を受ける患者様と外来での化学療法を実施している医師を対象に、化学療法に伴う看護サービスの提供についての調査研究を行っております。つきましては貴院におきまして、対象者の方に外来での化学療法に伴う看護サービスの提供に関してのインタビューにご協力をお願いしたいと思っております。

研究に参加していただくにあたり、対象者の方に文書と口頭にて説明を行います。それによって同意が得られた対象者のみにインタビューを行います。研究への参加は対象者の自由意志によって行っていただきます。研究協力に同意できない場合は、お断りになることもできます。インタビューの日時は、対象者の都合にあわせて設定させていただきます。インタビューの内容で答えにくい、あるいは答えたくない場合は、無理にお答えいたしません。また、インタビューの途中で身体的・精神的苦痛が生じた場合、中断することができます。研究協力者がお断りになったことで、不利益を被ることが一切ないよう配慮いたします。インタビューは声の漏れない部屋などを使用させていただき、研究協力者のプライバシーを配慮して行います。インタビュー内容は施設や個人が特定できないよう処理し、研究以外の目的では使用いたしません。研究に参加することによって身体的・精神的苦痛を生じた場合、直ちにインタビューを中止し、研究者が責任を持って適切な処置を行います。その他、何かお気づきの点があれば、いつでも研究者にお尋ねください。なお、研究計画書およびインタビュー内容に関しましては、別紙をご参照ください。

研究にご協力していただいた内容は、今後、外来で化学療法を受けられる患者様の副作用の予防や緩和に関するよりよい看護サービスを開発することに生かされる可能性があります。お話していただいた内容は、施設や個人が特定できないように処理を行った上で、専門の学会、学術雑誌に公表することがあります。ご不明な点、ご質問がある場合は下記の連絡先にお問い合わせください。研究調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

研究班責任者：内布敦子

連絡先：〒673-8588

兵庫県明石市北王子町 13-71

兵庫県立看護大学 症状マネジメント研究班

TEL/FAX 078-925-9435

外来化学療法サポートプログラムの開発
研究医師ヒアリングマニュアル

兵庫県立看護大学

外来で化学療法をうけるがん患者の副作用・症状マネジメントとサポートシステムの開発研究班（主任研究者：内布敦子）

データ番号		病院コード	
ヒアリング日時	月	日	時 分まで
ヒアリング場所の状況			
氏名			
医師の経験年数			
現在の病院での経験年数			
外来化学療法を始めた時期	年	月	
外来化学療法の経験年数	本格的に外来で化学療法を始めてからの年月		
外来化学療法の担当例数	約		
外来化学療法に従事する時間	週に 日 外来化学療法がある日は、一日何時間くらい従事するか () 一人あたりにかかる時間 () 分		
使用している主な薬剤			
主な疾患			
その他の情報			

外来化学療法看護ニーズ（医師用）ヒアリングの枠組み

内布研究班

医師へのヒアリングは、患者へのインタビューと異なり、比較的構造化した形になってもいいと思います。というのは、医師職の方々は、現場での問題をかなり理性的にとらえておられると思われるからです。ですから、こちらのペースをやや前面に出して効きだしてもいいと思います。

下の文章は、参考です。患者の場合と異なり、用紙に沿って話を進めるが、よほど向こうの言いたいことがあって脱線する場合は止めない、というやり方で行います。

《導入》

- ・今日は、ご協力ありがとうございます。早速お話を聞かせていただけてよろしいですか？外来化学療法はいずれ主流になってくると思いますので、この研究では点滴中の看護だけでなく、生活調整の方法やその相談、心理的サポートまで含んだ包括的な看護のスタンダードを作りたいと思っています。
- ・化学療法を外来で行っておられる医師の方々に看護ニーズについてご意見をいただくという調査はこれまで行われていないのでお願いしたわけですが、今日お聞きした内容はデータとなりますので、事前にご了解を得たいと思います。（承諾書）
- ・ご意見はテープに録音します。ヒアリングを途中でやめることもできますので、どうぞ遠慮なくおっしゃって下さい。（承諾書を見せながらサインをもらう）
- ・個人名はすべて削除して処理しますので、論文として発表する場合は、個人のお名前が出るようなことは一切ないということが書かれています。一部差し上げますので、2枚、同じものですがサインをして下さい。ありがとうございます。

1. 現在の病院での外来化学療法の実態を教えてください。

担当の患者さんの何割を外来化学療法で診ておられますか

入院治療から外来治療に移行したことで難しくなったこと、よりよくなったことを教えてください。（自由に話してもらい出なければ下の枠内の項目で引き出す）

患者の身体面

患者の精神面

治療管理のしやすさ

施設の利便性、システム上の大変さ

2. 外来化学療法による治療を妨げているもの（こと）がありますか？
またそれはどうすれば改善できると思いますか？

患者、家族に起因すること

看護師に起因すること

病院のシステムに起因すること

医師の業務に関すること

その他、サポートの体制など

3. 患者さんの外来化学療法中の副作用についてお聞きします。
どのような副作用を主に訴えられますか？
副作用以外で訴えの多いこと何が何かありますか？

1. 患者さんの自己管理能力（自己管理のための知識や技術）についてどのように評価しておられますか？

- ・ うがい、手洗いなどの感染予防行動
- ・ 食欲低下時の食事の工夫、栄養管理

- ・ 各種症状のモニタリングとそれを報告する能力
- ・ 自分の身体への関心
- ・ ストレスマネジメントの能力
- ・ その他

2. 患者さんに現在提供している情報にはどのようなものがありますか

- ・ 化学療法に用いる薬剤の知識
- ・ 副作用とその対策についての知識
- ・ 療養管理上の保健行動に関する知識
- ・ 心理面のガイダンス
- ・ 一人の患者さんへの情報提供にかかる時間はどれくらいですか、それは足りていますか
医師
看護師
- ・ その他

3. 外来化学療法を充実させるために看護師にどのようなことしてもらいたいですか

- ・ 患者の身体面
治療中の細かいモニタリングと医師への情報提供：

点滴の速度管理など確実な治療効果をあげるための正確な手技

血管外漏出などへの適切な対応
- ・ 家庭療養中の身体管理の具体的な方法（感染予防、栄養の摂取など）の患者相談

- ・ 患者の心理社会面
心理的なケア
- 制度の利用など経済面の相談
- サポートグループの紹介、運営
- ・ 家族のケア関連
- ・ 地域との連携
- ・ 快適な治療環境の整備
- ・ ケア的な対応能力
- ・ 薬剤の知識、病気の知識をもっと高度に持って欲しい

4. 地域の医師や看護職と連絡をとることがありますか

その時にあればいいサポートはなんでしょう

例えば、相手先の看護師さんと連絡を取って患者の個別の情報を伝えて欲しい
相手先を探して連携が取れるかどうか打診し、ネットワーク作りを手
伝って欲しい

5. その他、外来化学療法を行っている医師として、問題に感じていること、看護職への要望などお聞かせ下さい

・ だいたいお聞きしたいことはお話しいただいたように思うのですがどうでしょうか？何か言い足りなかったことがありますか？もしあとでも加えたいことがありましたら、ここにお電話下さい。研究班の名刺を渡す

・ お話しいただいたことがちゃんと活かせるようにしたいと思います。今日は、お疲れのところを本当にありがとうございました。とてもよくわかって、とてもためになりました。これは粗品ですが、どうぞ受け取って下さい。それでは失礼します。

外来化学療法サポートプログラムの開発研究患者インタビューマニュアル

兵庫県立看護大学

外来で化学療法をうけるがん患者の副作用・症状マネジメントとサポートシステムの開発研究班（主任研究者：内布敦子）

データ番号		病院コード	
インタビュー日時	月 日 時 分～ 時 分まで		
インタビュー場所の状況			
氏名			
年齢			
性別			
最初の診断時期	年 月		
お仕事			
何人家族ですか			
これまでに受けた治療は？	○ をいくつでもつけて下さい 手術・放射線療法・入院化学療法・その他		
始めて外来化学療法をしたのはいつですか？			
いつまでの予定ですか？	どのようなスケジュールで治療するんですか		
お薬の名前とかもしご存じなら			
通院時間・手段			
その他の情報			

外来化学療法看護ニーズ（患者用）インタビューの枠組み

内布研究班

あまり先入観があってはいいませんが、全くなくても患者のニーズを引き出すことはできません。患者さんが言いたいことがあって話が続くときは、まず聞いてください。患者さんからの自発的な話がない場合は、こちらから質問します。

下の文章は、参考です。これにそってやろうとすると自然な会話になりませんから、やる前に読んで、「なるほどこんな感じか」というつかみして下さい。そして、一旦このマニュアルからはなれて、あとは自分のやり方でやった方がうまくいきます。読んだことは、インタビューをしていると、どこかで役に立ちますので、このままやろうとしないで一旦忘れ、自分自身を信じる必要があります。

《最初の質問から自然に入る》

- ・今日は、ご協力ありがとうございます。早速お話を聞いてよろしいですか？
- ・化学療法を受けておられると言うことで、お疲れかもしれませんので、もし大変でしたら、途中でやめることもできますので、どうぞ遠慮なくおっしゃって下さい。私たちの研究班は、外来で化学療法を受けているかたへのサービスの内容を研究しています。副作用など治療を受けて患者さん達が体験する困ったことにみなさん頑張って対応しておられるので、専門家として一緒に支えられることをいろいろ考える研究です。どうぞよろしくおねがいします。
- ・最初にこれは研究協力の同意書で大げさなのですが、サインをいただいてよろしいですか？かいつまんで説明しますと、自分に可能な範囲で話をするということ、それから中断したいときはいつでも中断できるということ、中断しても受けるサービスが変わるわけではないということ、それからお話下さったことが研究のデータになりますが、個人名はすべて削除して処理しますので、論文として発表する場合は、個人のお名前が出るようなことは一切ないということが書かれています。一部差し上げますので、2枚、同じものですがサインをして下さい。ありがとうございます。

《自然で積極的な話の聴き方》

・相づちをうつ。（わざとらしくならないように、目を見て時々深くうなづく。時々「なるほど」、「それで・・・」、「ああ、そうですか。わかります」などと言って下さい）患者さんは話すことを励まされます。

- ・それではお話を聞き始めてもいいですか？外来で化学療法を受けておられるということですが、いつから治療を受けておられるのですか？・・・そうですか、それで先生にはどんな風に説明されて受け始めたのですか？・・・なるほど。看護師さんからは何か説明がありましたか？・・・ああ、そうですか。化学療法を始められてから、体験されたことがいろいろあると思いますが、ちょっと思い出していただいて、身体の変化や副作用の症状などを少しお話しいただけますか・・・

・・・・・・・・・・(ここは結構長く話してくれると思う)・・・・・・・・(この間相づちをうつ)・・・・・・・・。そうですか、大変でしたね。出てこないときは、身体ニーズ、生活 ニーズ、心のニーズ、社会的なニーズについてどうだったか確認する。

・かなり自分で調べている人がいるので、その場合は、ご自分ではどのようにしてどれくらい病気や治療のことを調べておられるのですか？外来で治療をする
と決めた時は十分な情報がありましたか。決めるときにどのようなことがサポートになりましたか。

・それで、治療を受けておられる間に、医師や看護師に自分から何か質問したり確認したりしたことはありましたか？・・・・・・・・聞きたいことが何かありましたか？(出てこないときは)そうですね・・、例えば今使っている薬はどんな薬なのか？とか治る見込みはどれくらいなのか？とか髪が抜けるけど抜けないような方法はないのか？とか、カツラを買いたいけど金銭的に補助してくれる制度はないのか？とか、何を食べたらいいのか？とか、民間療法の効果は本当にあるのか？とかですね・・・・・・・・、何でもいいんですよ。感染に注意するよういわれていると思うのですが、自覚症状がないからどういう風に注意すればいいかわからないとか、感染するのではないかと心配で人混みがこわいとか・・・・・・・・、そういうことはありませんか。

・もっと副作用やその対処方法について情報が欲しいとか、生活調整などの相談に乗って欲しいと感じることはありませんか

・お医者さんと上手に話すのはどうですか？自分の疑問や不安を率直に伝えるのは難しくないですか？・・・・・・・・そうですか、先生が良く聴いて下さるんですね。それは随分安心ですね。聞きにくいこともありますか？・・・・・・・・

・日常生活では何か困ることがありますか？・・・・・・・・眠れますか？・・・・・・・・食欲はいかがですか？・・・・・・・・下痢など排便や排尿では問題はありませんか？・・・・・・・・そんなときはどうなさっているんですか？・・・・・・・・ああ、そうですか。それは良くやってらっしゃいますね。自分でお考えになったんですか？・・・・・・・・看護師さんが教えてくれたんですか？・・・・・・・・その困られたときは看護師さんに相談なさいましたか？・・・・・・・・そうですか・・・・・・・・。次の外来まで放っておけなくてすぐに看護師か医師に相談したいということはなかったですか？例えば、いつでも24時電話で相談できる場所があればいいとか・・・・・・・・。

・気持ちの面で大変なときはどうしておられますか？どなたかに相談なさるとか・・、どなたのどんな支えが一番ありがたいですか？・・・・・・・・そうですか、そう言う方がおられて良かったですね。・・・・・・・・気持ちが大変なときに看護師や医師に助けて欲しいとかはあまり思わないんでしょうか？・・・・・・・・そうですか、不安な気持ちを聞いてくれるような看護師の窓口は必要だと思いますか？

《外来治療のシステムや治療手技に関する要望》

- ・ 治療を受ける時の状況で何か改善して欲しいことはありますか？例えば、点滴を受けるときにベッドが隣とくっつきすぎているとか、看護師さんに遠慮して頼めないとか、治療まで待たされる時間が長いとか・・・。本当は入院してやりたいとか・・・
- ・ 看護師の治療手技（点滴の正確な管理など）などで気になることはありませんか
- ・ 針の刺入について気になることはありませんか（血管をどうやったら温存できる下記を配って欲しいなど）

《最後に、終わり方》

- ・ だいたいお聞きしたいことはお話しいただいたように思うのですがどうでしょうか？何か言い足りなかったことがありますか？もしあとでも加えたいことがありましたら、ここにお電話下さい。研究班の名刺を渡す
- ・ お話しいただいたことがちゃんと活かせるようにしたいと思います。今日は、お疲れのところを本当にありがとうございました。とてもよくわかって、私も看護師なのでとてもためになりました。これは粗品ですが、どうぞ受け取って下さい。それでは失礼します。

注意！！

- ・ 各種抗癌剤の副作用は事前に調べておくこと
- ・ 本に載っていない症状も言われることがあるので柔軟に聞き取ること
- ・ 症状は軽微であっても対処法を含めて丁寧に聴くこと
- ・ がんそのものと直面することのしんどさが大きくて、ストレスマネジメントこそサポートして欲しいという場合もあります。話してくださるようならそれも大きなニーズですので良く聴いてください。

《話したくない患者の場合》

「気持ちの問題は自分で何とかやっています。あまりそう言うことをいうのは好きではない」という方には無理に気持ちの問題を聞き出す必要はありません。

「自分で何とかやっておられるということですが、例えばご自分ではなくて他の患者さんのことでいいのですが、気持ちを支えるような専門職がいて、ストレスをどのようにコントロールするかなんていうことを一緒にしてくれるような、そういう人は必要と思われますか？」と聞いてみてください。